

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2101252	情報化社会論 On Information-oriented Society	酒井 健宏	基礎	2	選択	4年 前期

**科目の概要**

インターネット、スマートデバイス、情報家電、デジタル放送、電子マネーなど、デジタル情報技術の発展を背景とする情報化が私たちの日常生活を大きく変容させている。様々な情報が複合的に行き交い、交通や流通、交流や意思伝達が迅速で簡便になる反面、社会システムの安定性の低下、既存の社会観念や生活意識の崩壊など新たな問題も次々と出現している。このような状況に対処するために、この授業では人間社会と情報の関わりについて総合的に学修する。まず、「情報」という概念について社会史的な観点から理解する。次に、近年の高度な情報化を支えるマルチメディア及びそのコンテンツについて仕組みや意味を具体的に認識する。さらに、情報技術の利便性または問題点などについて、主に日常生活に即した観点から考察する。

学修内容	到達目標
① 情報化が進む社会の状況について学術的に捉える視点を養う。	① 情報という概念についての定義、基礎的な特徴を理解することができる。
② 高度な情報技術を使いこなす生活について客観的に見つめる視点を養う。	② 高度情報化社会の成立背景について理解することができる。
③ 情報化が社会や文化に与える影響について深く考察できる視点を養う。	③ 高度な情報技術が社会や文化に与える影響について考察することができる。
④ 高度な情報技術によって提供されるメディア・コンテンツを批判的に読み解く能力を養う。	④ デジタル情報技術に基づくメディア・コンテンツに対する読解力を修得することができる。
⑤ より洗練されたメディア・リテラシーを身につけ、情報化社会の利点と問題点を見極める力を養う。	⑤ 情報機器に囲まれる社会について身近な視点から考察することができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	高度に情報化する社会の在り方について関心を持ち、資料・文献を使って自主的に考察を深めることができる。
	働きかけ力	
	実行力	難解な概念の理解に努め、メディア・コンテンツを深く読み解く姿勢を、最後まで崩さずに持続することができる。
考え抜く力	課題発見力	情報化社会の課題や問題点について、主観的な思い込みや憶測、あるいは単純な印象や好き嫌いの感情で向き合うのではなく、客観的な視点を保ちながら事実に基づいて見極めることができる。
	計画力	
	創造力	パソコンやタブレット端末など、身近にあるデジタル情報機器をマニュアル通りに使いこなすだけでなく、社会にとって、より有効かつ有益な活用法を考えることができる。
チームで働く力	発信力	今日の高度に情報化する社会の在り方について考察した内容を、的確な発言や文章で表現できる。
	傾聴力	他者の発言や文章を、注意深く受け止め、誤解や先入観にとらわれることなく、正確に理解することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト: 特定のテキストは使用しない。

参考文献: 「情報社会を知るクリティカル・ワーズ」 田畑暁生(編)、フィルムアート社。その他、適宜紹介。

**他科目との関連、資格との関連**

学修上の助言	受講生とのルール
毎週、授業内容のスライドをノートに記録すること。各週の授業前後に内容をあらためて確認すること。日常生活で自身が使用する情報処理機器やコミュニケーション・ツールそのものについて関心を持つこと。さらにそこから情報技術(IT)が私たちの社会や文化に与える影響についてもつねに考える姿勢を保つこと。	授業の内容とは関係ない私語や、スマートフォンなどの使用は慎むこと。授業の進行の妨げとなる迷惑行為や、居眠り、早退、遅刻を繰り返す者に対しては即時退席を促す。その場合は欠席として扱うので注意すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎内容を理解し、問題文に対して適切に回答しながら、自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。</li> <li>・授業で学修した内容の理解度を確認する。</li> <li>・次の到達レベルをもって合格の基準とする。</li> <li>「情報」という概念の普及を社会史の観点から捉え、情報メディアのシステムやコンテンツの仕組みを理解し、その利便性や問題点について深く考察できる。・・・S</li> <li>「情報」を社会史的観点から捉え、情報メディアのシステムやコンテンツの仕組みを理解し、今日の社会が高度な情報技術と密接に関連しあって成立していることを理解できる。・・・A</li> <li>「情報」を社会史的観点から捉え、今日の社会が高度な情報技術と密接に関連しあって成立していることを理解できる。・・・B</li> <li>「情報」について基礎的な知識を持ち、今日の社会が高度な情報技術のもとに成立していることを理解できる。・・・C</li> <li>Cのレベルに達していない。・・・F</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10週目から14週目の授業内で、記述形式の小テストをおこなう。</li> <li>1 能動的に授業に参加できたかを確認する。</li> <li>2 授業内容を理解できているかを確認する。</li> <li>・出題範囲は、各時点までの授業で学修した内容とする。</li> <li>・点数の判定は、計5週の小テストの点数を平均して算出する。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>(主体性)・高度に情報化する社会の在り方について関心を持ち、資料・文献を使って自主的に考察を深める態度を高く評価する。</li> <li>(実行力)・高度に情報化する社会に対する関心を持続する態度を高く評価する。</li> <li>(課題発見力)・客観的な視点を保ちながら情報化社会について考察する態度を高く評価する。</li> <li>(創造力)・情報機器の使用に関して有効かつ有益な活用法を探索する態度を高く評価する。</li> <li>(発信力)・今日の高度に情報化する社会の在り方について考察した内容を、的確な発言や文章で表現できれば高く評価する。</li> <li>(傾聴力)・他者の発言や文章を、注意深く受け止め、誤解や先入観にとらわれることなく、正確に理解することができれば高く評価する。</li> <li>(規律性)・受講態度が悪い場合(遅刻、欠席、私語、居眠り、学修意欲欠如、他の受講者に対する迷惑行為など)は減点する。</li> <li>・6週以上の欠席はO(放棄)判定となる。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
「情報」を社会史的観点から捉え、情報メディアのシステムやコンテンツの仕組みを理解し、今日の社会が高度な情報技術と密接に関連しあって成立していることを理解できるものをA(優)とする。その上で、情報メディアの利便性や問題点について深く考察できるものをS(秀)とする。	「情報」について基礎的な知識を学修するにとどまるものをC(可)とし、「情報」を社会史的観点から捉え、今日の社会が高度な情報技術と密接に関連しあって成立していることを理解できるものをB(良)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	はじめに／授業の進めかたに関する詳細な説明。授業の概要や受講上のルールを確認する。	講義	授業の概要、受講上のルールを理解し、学修に臨む姿勢を形成することができる。	次週からの学修内容を確認し、能動的に授業に臨む準備をする。	180	主体性 規律性
2週 /	情報化社会を知る(1)情報／情報の定義および基礎的な特徴を理解する。基本的用語の説明、確認が中心となる。	講義	「情報」という概念について「情報」という概念についての学問上の定義を知ることができる。	講義ノートの内容を復習する。次週の学修内容を確認する。	180	主体性 傾聴力
3週 /	情報化社会を知る(2)コミュニケーション／コミュニケーションおよびそのプロセスについて理解する。基本的用語の説明、確認が中心となる。	講義	コミュニケーションプロセスにおいて情報がどのように位置づけられるかを知ることができる。	講義ノートの内容を復習する。次週の学修内容を確認する。	180	主体性 傾聴力
4週 /	情報化社会を知る(3)メディア／メディアについて基礎的な特徴およびその役割を理解する。基本的用語の説明、確認が中心となる。	講義	メディアを介して情報がどのように伝達されるのかを知ることができる。	講義ノートの内容を復習する。次週の学修内容を確認する。	180	主体性 傾聴力
5週 /	マルチメディアとデジタル技術(1)歴史的背景／高度情報化社会の成立背景について理解する。各種のコミュニケーション・ツール、メディア様式の登場と展開を概観する。	講義	社会がどのような歴史的変遷をへて情報化してきたかを知ることができる。	講義ノートの内容を復習する。次週の学修内容を確認する。	180	主体性 傾聴力
6週 /	マルチメディアとデジタル技術(2)社会的影響／高度情報化が社会に与える影響について理解する。各種のコミュニケーション・ツール、メディア様式がもたらす社会的変容を概観する。	講義	今日の社会が高度な情報化の影響をどのように受けているのかを知ることができる。	講義ノートの内容を復習する。次週の学修内容を確認する。	180	主体性 傾聴力
7週 /	メディア・コンテンツをよみとく(1)／メディアおよびマルチメディア・コンテンツに対する読解力を身につける。メディア・リテラシーの意義について確認する。	講義	メディア・リテラシーを身につけることの意義について理解することができる。	講義ノートの内容を復習する。次週の学修内容を確認する。	180	実行力 課題発見力
8週 /	メディア・コンテンツをよみとく(2)／メディアおよびマルチメディア・コンテンツに対する読解力を身につける。具体的なコンテンツを分析的に読解するための実践例を示す。	講義	メディアのコンテンツを分析的に読解する際の着目点を理解することができる。	講義ノートの内容を復習する。次週の学修内容を確認する。	180	実行力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	メディア・コンテンツをよみとく(3) / メディアおよびマルチメディア・コンテンツに対する読解力を身につける。具体的なコンテンツを分析的に読解するための実践例を示す。	講義	メディアのコンテンツを分析的に読解する際の着目点を理解した上で、個別のコンテンツに適用して考察を試みることができる。	講義ノートの内容を復習する。次週の学修内容を確認する。	180	実行力 課題発見力
10週 /	情報化社会を考える(1) / 情報機器に囲まれる社会について身近な視点からアプローチする。具体的な情報機器についての知見をもちより考察する。	講義 小テスト	情報機器の使用に対しての注意点に配慮することができる。	講義ノートの内容と小テストで記述した内容を関連づけて復習する。次週の学修内容を確認する。	180	発信力 傾聴力
11週 /	情報化社会を考える(2) / メディアおよびマルチメディア・コンテンツが溢れる社会について身近な視点からアプローチする。具体的知見をもちより考察する。	講義 小テスト	情報機器によって受信するコンテンツを利用または鑑賞する際の注意点に配慮することができる。	講義ノートの内容と小テストで記述した内容を関連づけて復習する。次週の学修内容を確認する。	180	発信力 傾聴力
12週 /	情報化社会を考える(3) / 情報化社会に生きる「私」について客観的な視点からアプローチする。具体的な経験や見解をもちより考察する。	講義 小テスト	高度情報化社会に生きていることを自覚し、自分自身を客観的に見つめる姿勢を獲得することができる。	講義ノートの内容と小テストで記述した内容を関連づけて復習する。次週の学修内容を確認する。	180	発信力 傾聴力
13週 /	情報化社会の今後と諸問題(1) / 情報化社会の利点および問題点を認識し、自分なりの意見を見いだす。各自、関心のあるトピックについて調査、考察する。	講義 小テスト	日常の身近な出来事の中にあらわれる情報化社会の特徴を探り出し、考察することができる。	講義ノートの内容と小テストで記述した内容を関連づけて復習する。次週の学修内容を確認する。	180	発信力 傾聴力
14週 /	情報化社会の今後と諸問題(2) / 情報化社会の利点および問題点を指摘し、自分なりの意見を他者に伝えるための工夫を考案する。各自、調査内容を簡潔にまとめる。	講義 小テスト	日常の身近な出来事の中にあらわれる情報化社会の特徴について、具体的に説明することができる。	講義ノートの内容と小テストで記述した内容を関連づけて復習する。次週の学修内容を確認する。	180	発信力 傾聴力
15週 /	まとめと考察 / 授業内容を包括的にまとめ、期末の筆記試験への準備を促し、さらなる考察のための資料や教材を紹介する。	講義	前週までに獲得した知識をもとに考察したことをふまえ、情報化社会に関する総合的な理解を形成することができる。	これまでの講義ノートの内容を全体的に復習する。授業内容を総合的に把握しなおし、期末の筆記試験に向けて準備する。	180	課題発見力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力